

もっと

集まれ!

九州大学小山研究室主催  
凡人社 後援

# 日本語教育の仲間たち!

## 基調講演

子どもの日本語教育  
**齋藤ひろみ** 氏  
東京学芸大学

2026年8月29日(土)

12:50~17:15 (12:30受付開始)

場所: 福岡県中小企業振興センター

参加費: 無料

定員: 100名

4

## ミニ・ワークショップ/ポスター発表

### 教師教育

**横溝 紳一郎** 氏  
西南学院大学

### 教師の成長

**河野 俊之** 氏  
横浜国立大学

### 教材開発 I

**栗山 恵子** 氏  
熊本大学

### 語彙教育 I

**木下 謙朗** 氏  
龍谷大学

### 語彙教育 II

**丸山 真貴子** 氏  
目白大学短期大学部

### 地域日本語教育

**今泉 智子** 氏  
山形大学

### 会話の教室活動

**黒田 弘美** 氏  
甲南大学

### 漢字・語彙教育

**渡辺 若菜** 氏  
立命館アジア太平洋大学

### 日本語教師の内省

**川崎 真奈美** 氏  
朝日大学

### コーパスと授業設計

**末繁 美和** 氏  
岡山大学

### 音声教育

**郭 昱昕** 氏  
長崎大学

### 教材開発 II

**郭 穎俠** 氏  
香港中文大学

### 授業改善

**小山 悟** 氏  
九州大学

## オンラインでも配信いたします

ただ、状態としては、テレビ中継を見ている感じになりますので、福岡市内または福岡市近郊にお住まいの方は、対面で参加されることをお勧めします。

問合せ: 九州大学留学生センター小山研究室  
koyama.satoru.188@m.kyushu-u.ac.jp

# プログラム

## 基調講演（斎藤ひろみ）

### 子どもたちのことばの学習をデザインする ―多様性が活きる日本語教育―

家族の都合で来日する子どもにとって、日本語学習の意味・価値は？ 子どもの日本語教育に携わる者の悩みである。子どもたちの多様な背景や経験を活かして、生涯にわたって自律的に学び続ける力を育みたいと思う。多様性に応じたコース設計に向け、文部科学省（2011）『外国人児童生徒の受入れの手引き』では、サバイバル日本語・日本語基礎・技能別日本語・日本語と教科の統合学習（JSLカリキュラム）と、教科の補修、母語・母文化や交流プログラム等が提案されている。その執筆に協力した立場で、子どもの日本語教育に関し、実践事例をもとに、ことばの学習をデザインするという新たな視点で考えてみたい。

## ミニワークショップ／ポスター発表

### 第1部 13:00～14:10

#### ルーム1 教師教育（横溝紳一郎）理想の日本語教育実習？ ―西南学院大学の取組み―

「こんなのだったら受けてみたい！」という理想の日本語教員養成プログラムの設立をめざして、2022年からたくさんの方のチャレンジをしてきました。当日は、プログラムの最終段階である「日本語教育実習」での様々な試行錯誤を、詳細にわたりご紹介いたします。日本語教育実習について、多様な視点からの意見・情報交換ができればと思っています。

#### ルーム2 教師の成長（河野俊之）Can-doを用いた授業についてAIに相談してみよう

認定日本語教育機関の申請のためにもCan-doが重視されています。しかし、特に初級の場合、教科書のCan-doをそのまま書き写すようなことはないでしょうか。それでは、実際の教育にはあまり役立たないのではないのでしょうか。そこで本ワークショップではCan-doを用いた授業づくりにAIを活用してみることにについて考えます。

#### ルーム3 会話の教室活動（黒田弘美）日常会話につながる教室活動 ―受身表現を例として―

「日本人との会話の始め方がわからない」、「習った文法をどのように使うのかわからない」といった学習者の声を聞いたことがありますか。本ワークショップでは、このような学習者の声をもとに、日常会話につながる教室活動をご紹介します。学習者が自分の経験を自然に話せるようになる教室活動について一緒に考えましょう。

#### ルーム4 語彙教育Ⅰ（木下謙朗）運用力向上を目指した語彙の授業〈その1〉

「教えたはずの語彙が、なかなか使えるようにならない」。そんな悩みはありませんか。本ワークショップでは、学習者の知的能力を活かした運用力向上を目指した語彙の授業をご紹介します。「わかる」から「使える＝言いたいことが言える！」へ。実際に行った授業をもとに、みなさんと気づきを共有しながら、明日から使える語彙指導のヒントを一緒に探ります。（その2へ続く）

#### ルーム5 コーパスと授業設計（末繁美和）

##### コーパスを活用したCan-doに基づく授業設計 ―J-TOCCを用いた授業設計例―

Can-doを中心としたシラバスを用いて授業を設計する際、「Can-doを授業活動や教材にどのように具体化すればよいのだろう」と悩んだことはないでしょうか。能力記述文(Can-do)は一般的に抽象度が高いため、授業活動や教材へ具体化するには、場面、相手、タスクの内容等を教員が設計する必要があります。本発表では日本語話題別会話コーパス(J-TOCC)を手がかりに、Can-doを具体化する授業設計例を参加者の皆さんと考えたいと思います。

#### ルーム6 日本語教師の内省（川崎真奈美）日本語教師の専門性って？

本ワークショップでは発表者が名古屋市のある高等学校の特別日本語クラスに、日本語教師としてどのように介入したのかについてお話しします。そして実践内容について、参加者の方々とともに振り返り、「日本語教師の持つ専門性とは何か」「日本語教師はそこで何ができるのか」についてディスカッションしたいと考えています。

## 第2部 14:25～15:35

### ルーム1 教材開発Ⅰ（栗山恵子）

#### 大学内外の学習者をつなぐ協働学習教材『ひらく』ができるまで

米国の大学で、日本語学習者と地域の日本人コミュニティメンバーが学び合うための協働学習教材『ひらく』を開発しました。本発表では、教材の工夫や活動例、改訂の過程を紹介します。あわせて、日本国内での留学生と日本人学生による活用事例も紹介し、留学生と地域住民をつなぐ教材としての可能性を考えます。

### ルーム2 音声教育（郭 昱昕）

#### 学習者に本当に必要な音声指導とは何か ―日本語教育の現場から考える―

日本語教員試験では音声に関する知識が求められ、日本語教育の参照枠（Can-do）でも音声の到達目標が示されています。一方、現場ではどのような音声指導が行われているのでしょうか。本発表では、現場の実践や課題を踏まえ、学習者に本当に必要な音声指導とは何か、これからの音声教育の在り方について皆さんとともに考えます。

### ルーム3 漢字・語彙教育（渡辺若菜）漢字の貯蓄、しませんか ―「漢字語彙銀行」の取組み―

「漢字銀行」を知っていますか。みんなに秘密でいつの間にか漢字が得意になってみませんか。ぜひあなたの漢字語彙を銀行の通帳（型ノート）に貯蓄してください。少額から始められます。利子もつきます。会計監査もあります。目標を決めて自分のペースで無理なく漢字語彙が貯められる「漢字銀行」の活動を紹介します。

### ルーム4 語彙教育Ⅱ（丸山真貴子）運用力向上を目指した語彙の授業〈その2〉

本ワークショップでは、〈その1〉での議論を踏まえ授業ビデオを視聴し、気づきをもとに語・句・文・文章へと段階的につなげる工夫や、自立した社会的な存在（Social Agent）を育てる活動設計を議論します。現場の悩みを共有し、明日からの授業の引き出しを増やしましょう。（その2だけの参加もちろんOK!）

### ルーム5 地域日本語教育（今泉智子）

#### 対話型日本語教材『やまがたでくらす・はなすにほんご』の開発と活用

外国人住民と日本人住民が、日本語で対話しながら、日本の生活や互いの文化への理解を深め、人間関係を築くことを目指した対話型教材を作成しました。対等な立場のおしゃべりを中心に、ゆるやかに語彙や文法を学びながら、自己表現できるようになることを目指しています。本発表では、このような対話を中心とした日本語学習の在り方について、みなさんと一緒に考えたいと思います。

### ルーム6 教材開発Ⅱ（郭 穎俠）

#### AI・ICTを活用した自律学習支援教材の開発 ―レベル適応型読解教材と語彙学習動画の試み―

日本語学習者の多様化が進む中、学習者一人ひとりに応じた学習支援が求められています。本発表では、QRコードを活用したレベル適応型読解教材と、語彙ネットワークの構築を目指した短編動画教材の開発事例を紹介します。教材設計の考え方や試作の過程で直面した課題を共有し、AI・ICTを活用した日本語教育の可能性と今後の方向性について参加者の皆さんと考えます。

### ルーム7 授業改善（小山 悟）実践の成果を検証し、改善の手がかりを探る

授業デザインで重要なのは、到達目標をできるだけ具体的（+実現可能）なものにすることと、その目標をどの程度達成できたかをどのように知るのかを考えておくことだと思います。そうでなければ、授業がうまくいかなかった時、どこをどう見直せばいいか、わからないからです。とは言え、それは決して簡単なことではありません。本発表では香港で行ったジグソー実践を例に目標の立て方と成果の検証方法について考えます。

## 【お知らせ】本セミナーの登壇者が講師を務める研修会

### タンデム学習を活用した多文化共修 ―学習者同士が支え合い相互に学び合う活動とは―

- **8月21日（金）**の午後に**甲南大学**（神戸市）で開催される**対面**のセミナーです。タンデムとは母語の異なる者同士がペアを組み、互いの言語や文化を教え合う学習方法のことです。地域日本語教育が抱える課題を解決する新たな取り組みとして注目されています。講師は**末繁美和氏**（ルーム5の登壇者）です。



### 多様性が活きる日本語教育実践 ―教育・支援者の経験に学ぶ―

- **8月30日（日）**の午前に**九州大学大橋キャンパス**で開催される子どもの日本語教育に関する実践交流会（**対面**／前半だけならオンラインでの参加も可）です。子どもの日本語教育に教育者・支援者として関わっている方・関心をお持ちの方を対象としたもので、実践に関する参加者同士の交流が中心となります。講師は**斎藤ひろみ氏**（基調講演者）です。



# スケジュール (予定)

- 12:30 開場 (受付開始)
- 12:50 ご挨拶
- 13:00 ミニ・ワークショップ／ポスター発表①
- 14:10 休憩 (質問時間)
- 14:25 ミニ・ワークショップ／ポスター発表②
- 15:35 休憩 (質問時間)
- 15:50 主催者からのお知らせ
- 16:00 基調講演
- 17:05 ご挨拶
- 17:15 終了

Zoomでも配信いたしますが、テレビ中継を見ているような感じになります (意見交換ができません) ので、県内・市内在住の方は対面で参加されることをお勧めします。なお、オンライン参加には定員は設けておりません。どなたでも、どこからでもご参加いただけます。

## 申し込み方法

- 右のサイトからお申し込みください。



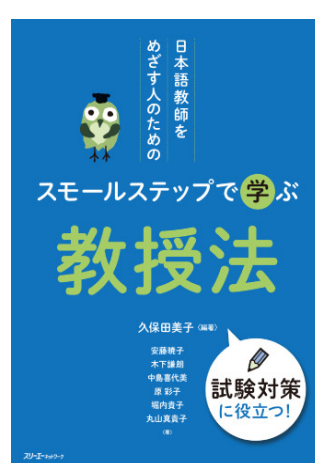
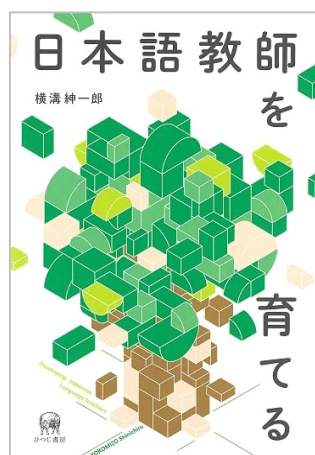
## 会場へのアクセス

1. 会場は**福岡県中小企業振興センター** 3階 (301室) です。
2. 博多からお越しの方は**JRの吉塚駅**で下車されてください。駅から徒歩1分です。
3. バスでお越しの方は**吉塚駅前**または**吉塚2丁目**で、地下鉄でお越しの方は**馬出九大病院前**で下車されてください。
4. 詳細は以下のウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.joho-fukuoka.or.jp/access.html>



吉塚駅東口より徒歩1分

# 概説書・教示用参考書



# 教科書・教材

